

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和6年3月22日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和6年4月25日（木）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

建設 DX でいち早く復旧・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(下田土木事務所)

◎令和 6 年 4 月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・	24
第 36 回賀茂地域広域連携会議の開催について・・・・・・・・	26
	(賀茂地域局地域課)
防災講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	(賀茂地域局危機管理課)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要



下田土木事務所の重要施策発表

「建設DXでいち早く復旧」になります。

こちらは記憶にも新しい令和4年8月の松崎町雲見太田川の画像です。

令和4年度に大規模な災害が発生



令和4年の4月から8月にかけて、台風や豪雨により甚大な災害が発生しました。
4月には西伊豆町堂ヶ島の三堂川、6月には下田市敷根の法面、8月には松崎町雲見の雲見川(太田川)。

いずれの箇所におきましても、地域のみなさまと協力し合い、安全に配慮し、迅速な対応を行いながら、早期の復旧を目指して事業を実施しました。

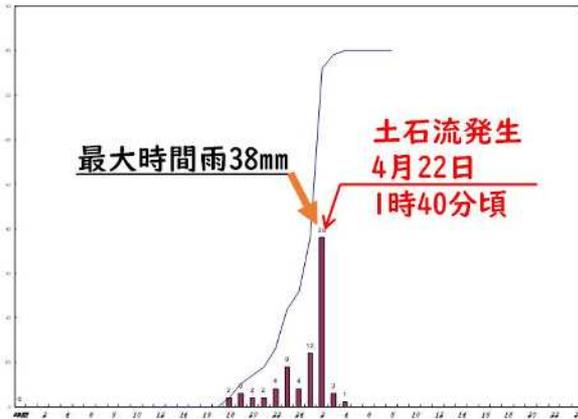
今回は、災害発生から現時点までの状況を紹介します。

三堂川 災害関連緊急砂防事業

まず、令和4年の4月に発生した「三堂川」の災害関連緊急砂防事業に関してです。

三堂川災害関連緊急砂防事業

【気象状況】



観測所：松崎雨量観測所

連続雨量	：	80mm	4/21 17時～	4/22 4時
最大24時間雨量	：	80mm	4/21 17時～	4/22 17時
最大時間雨量	：	38mm	4/22 1時～	4/22 2時

4月21日から22日の豪雨により、山からの土石流が国道136号まで流出し、交通網が寸断されました。

関係者の迅速な対応により、朝の通勤通学には大きく影響しなかったことが幸いでした。

時間最大雨量は38mm、連続雨量は80mmでした。

三堂川災害関連緊急砂防事業

【現場状況】 三堂川 発災後も上流に1300m³の土砂が残存



こちらは、土砂の流出状況になります。

①は上流部の状況ですが、元々の沢形状部分が大きくえぐられ、流木や土石が不安定な状態となっています。

②こちらも上流部の状況となります。

③下流部国道136号沿いのコンビニエンスストアの状況になります。土砂は店舗内部まで浸入しました。

④こちらは遊覧船駐車場部分の状況になります。多くの土砂が堆積している状況になります。

⑤被災直後の国道136号の状況になります。土砂が道路を覆い尽くし通行止めとなった状況です。



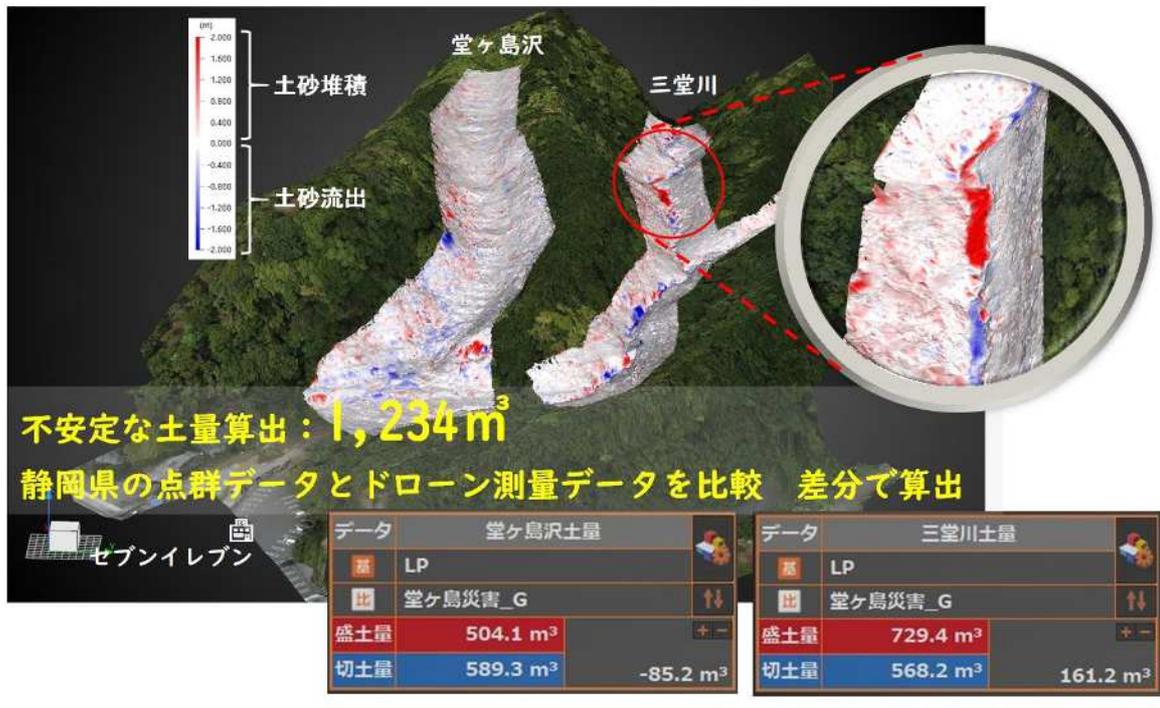
こちらは全景になります。

下から見ると流域がどれくらいかわかりませんが、ドローンの空撮によりかなり広いことが分かります。

今までは大丈夫であった山においても、放置状態が続き、荒廃地となると災害の危険は高まると言われています。

建設DXでの土砂量把握と設計

不安定土砂が堆積する危険な場所での測量が不要



こちらは、崩壊前のデータ(令和2年度に静岡県が計測したもの)と崩壊後のデータ(令和4年5月15日にUAVレーザ計測したもの)との比較により、流出した土砂と不安定な現地に残存している土砂量を正確に把握することができました。

この結果、土砂流出より土砂堆積が多く、左側沢部の堂ヶ島沢では土砂堆積より土砂流出が多いことが判明しました。

当初、三堂川から土石流が発生したと想定し、三堂川下流にえん堤を計画しましたが、堂ヶ島沢からの流出も判明したため、両溪流を保全することが可能となる位置でのえん堤を計画しました。

この結果を基にいち早く災害事業を申請し、認可され、事業実施に結びつきました。

三堂川災害関連緊急砂防事業（完成）



こちらが完成写真となります。
今月(3月)月上旬に完成しました。

敷根B 災害関連緊急傾斜事業

続きまして、下田市の敷根B災害関連緊急傾斜事業になります。

下田市 敷根B 災害関連緊急急傾斜事業

【被災状況】6/22早朝、轟音と共に法面の土砂300m³が崩落



※引続き崩壊の恐れがあったためドローンにて空撮

令和4年6月22日の早朝に下田市敷根地内において、轟音と共に民家の裏山が崩れました。

幸い、人命、建物への被害もありませんでした。

すぐにドローンにて斜面上部の状況などを調査しました。

状況は写真のとおり、斜面上部の不安定な土砂がないことを確認しています。

下田市内 敷根B 災害関連緊急急傾斜事業

【気象状況】



観測所：下田雨量観測所

6/21～ 6/22

連続雨量 : 161mm 6/21 13:00 ～ 6/22 22:00

最大24時間雨量 : 158mm 6/21 13:00 ～ 6/22 13:00

最大時間雨量 : 29mm 6/21 0:00 ～ 6/22 1:00

6月21日から22日の豪雨の状況になります。
時間最大雨量は29mm、連続雨量は161mmでした。

下田市 敷根B 災害関連緊急急傾斜事業

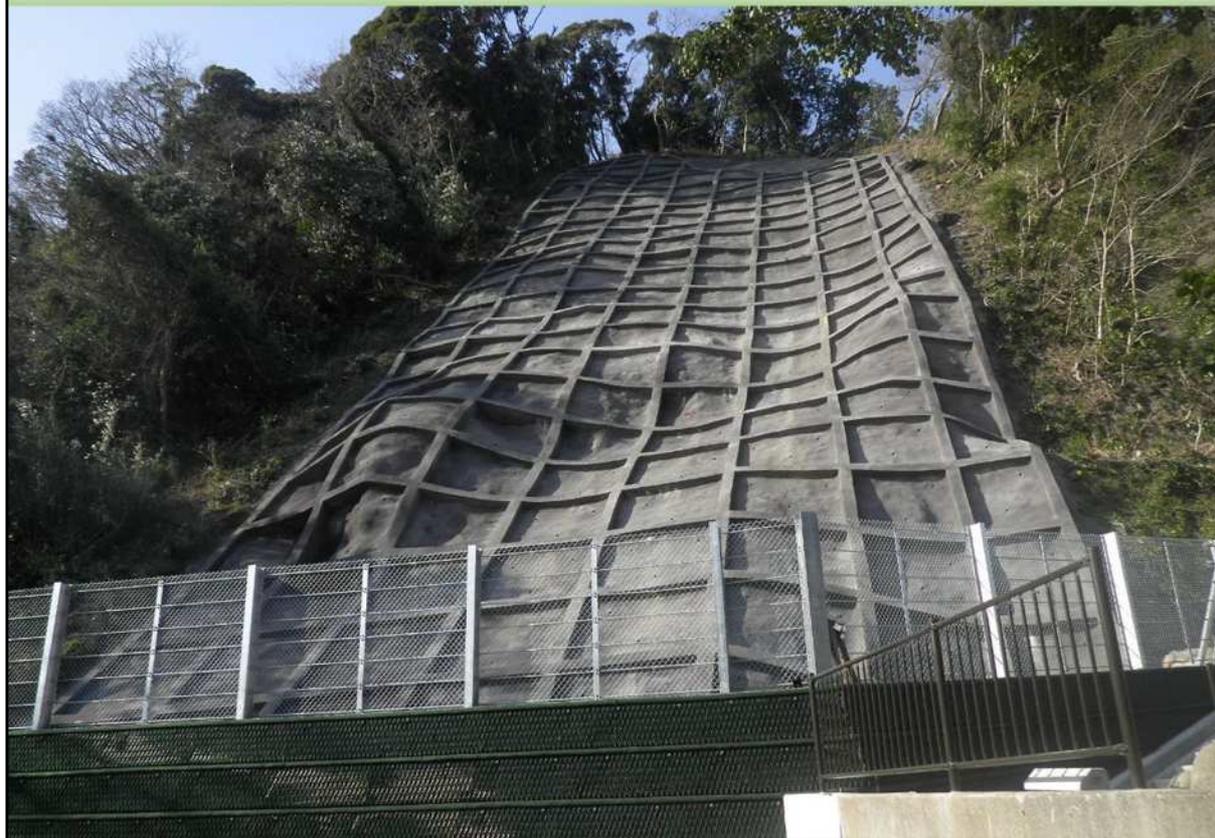
復旧イメージを3次元点群データ+3Dで作成



地域のみなさまに説明する際の完成イメージを3次元点群データと占有ソフトで素早く作成しました。

このような工事を迅速に実施することにより、より安全となることを理解していただき、事業に協力していただきました。

下田市 敷根B 災害関連緊急急傾斜事業



今月(2月)中旬、みなさまの御協力の下に完成しました。

雲見川 災害関連緊急砂防事業

続きまして松崎町雲見地区の災害関連緊急砂防事業になります。

松崎町 雲見川災害関連緊急砂防事業

【現場状況】 8/14早朝土石流災害が発生 甚大な被害でした

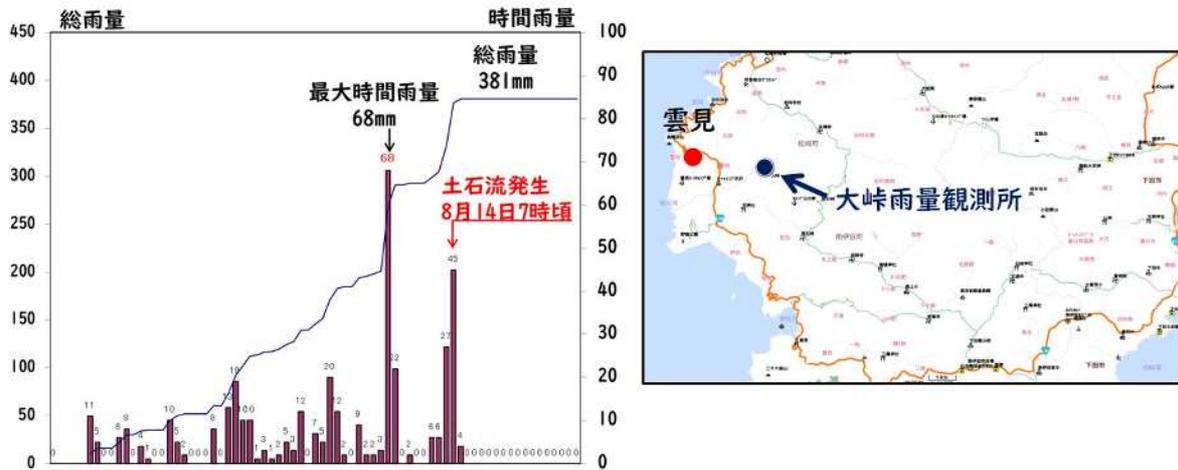


8月12日から14日の台風8号により、松崎町雲見地区で太田川の氾濫等により甚大な被害が発生し、宿泊業を営む多くの人々が休業を余儀なくされました。また、水道等のインフラも利用できなくなり、生活自体もままならない状況に陥りました。

- ①太田川氾濫状況
- ②雲見川に面する法面上部からの土砂流出
- ③雲見川右支川堆積状況

松崎町 雲見川災害関連緊急砂防事業

【気象状況】

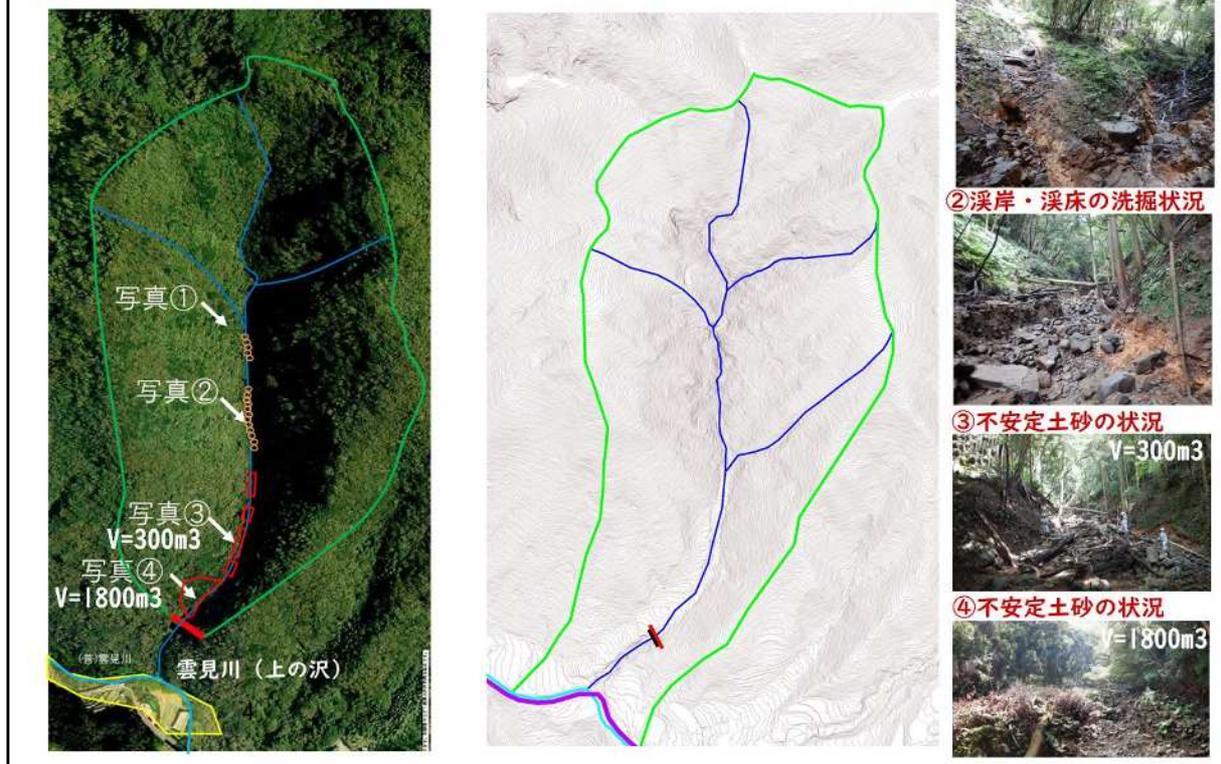


気象の状況になります。

時間雨量最大68mm、連続雨量381mmの大雨でした。

松崎町 雲見川災害関連緊急砂防事業(上の沢)

【現場状況】雲見川上の沢 上流部に2100m³が残存①山腹崩壊の状況



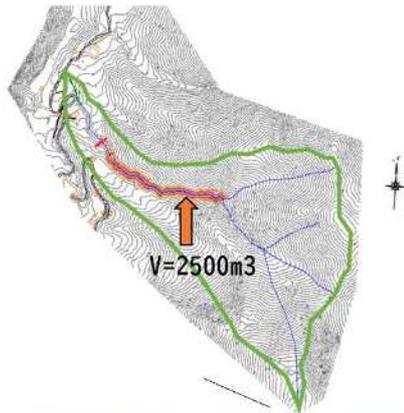
太田川の上流部雲見川を調査したところ、2つの大きな沢地形があり、こちらから流木や土石が下流の太田川に流れ込んだとみられています。

雲見川の左側に「上の沢」、右側に「右支川」があり、こちらは「上の沢」の状況写真になります。

右側の写真を見ると、被災後も流木や不安定な土石が多くあるのが分かります。

松崎町 雲見川災害関連緊急砂防事業(右支川)

【現場状況】 雲見川右支川 上流に2,500m³が残存



こちらは、雲見川「右支川」の状況写真になります。

こちらにも、写真を見ると、被災後も大きな転石や不安定な土砂が多くあるのが分かります。

3次元点群データとドローン測量による土砂量把握

差分解析の結果、溪流に不安定な土砂が約2,500m³残っていることが判明。
約400m³の土石流が(準)太田川に流出したことが判明した。
砂防堰堤に求められる機能として、2,500m³の土砂を補足可能な高さを計画した。



雲見川(右支川)においては、3次元点群データとドローンによる現況測量の結果、現溪流に2,500m³の不安定土石が残っている事が判明しました。
また、下流の準用河川太田川には、約400m³の土石が流れ下ったことが判明しました。
この結果を基にえん堤の規模を決定しました。

もう一つの雲見川(上の沢)においては、既存のえん堤があり、ある程度土砂の流出を抑え被害の拡大を防いだとする専門家の意見もありました。今回、こちらの堰堤については、既存堰堤のかさ上げを行い、土砂の確保量を増やす工事を行いました。

雲見川災害関連緊急砂防事業（上の沢）



雲見川（上の沢）の堰堤施工状況になります。雲見川沿いの狭い進入路や険しい地形部での施工も大変でしたがようやく完成に近づいてきました。

雲見川災害関連緊急砂防事業（右支川）



雲見川(右支川)の工事状況になります。こちらの現場も、「狭い進入路」や「険しい地形部」での施工も大変でしたがようやく完成に近づいてきました。
みなさまの協力の下、デジタル技術を使い、測量、設計を行い、早期の申請実現を経て今日を迎えております。

最後に

iphoneで「**測量&図面作成&設計**」ができる時代
8日、政府が「**建設現場の人手不足に対して担い手確保**」を
目指して建設業法の改正案を**閣議決定**しました。
これから先、もっと**デジタル化が進化し、建設業の処遇改善**
や**働き方改革、生産性向上が進み、担い手が建設業の世界、**
賀茂地域に集まるようになることを切に願います。

測量設計図面



令和5年8月24日（木）伊豆新聞
災害復旧 工期半分に

3次元点群データで測量



松崎の県道 崩落現場で下田土木

【伊豆新聞】松崎町の県道で崩落現場で測量作業を進める下田土木の作業員が、3次元点群データを活用して測量作業を進めている。崩落現場は、崩落した道路の復旧作業を進めるため、測量作業が不可欠とされている。点群データは、測量機で取得した地形データを3次元で表現したもので、測量作業の効率化や精度向上に役立つとされている。下田土木は、崩落現場で測量作業を進めるため、点群データを活用している。測量作業は、崩落現場の復旧作業を進めるため、不可欠とされている。点群データは、測量機で取得した地形データを3次元で表現したもので、測量作業の効率化や精度向上に役立つとされている。下田土木は、崩落現場で測量作業を進めるため、点群データを活用している。

現在は、デジタル化も進化し、土木事務所でも自前で、iphoneを使い「**測量&図面作成&設計**」ができる時代となりました。

そんな中、8日、政府が「**建設現場の人手不足に対して担い手確保**」を目指して建設業法の改正案を閣議決定をしました。

これから先、もっとデジタル化が進化し、建設業の処遇改善や働き方改革、生産性向上が進み、担い手が建設業の世界、賀茂地域に集まるようになることを切に願います。



御静聴ありがとうございました。

行事予定表（令和6年4月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月	防災講座 14:50～15:35 下田高校				
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月					
23	火					
24	水					
25	木	①定例記者懇談会 ②防災講座 ①9:30～ 賀茂キャンパス ②13:20～15:00 伊豆松崎分校				
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					

行事予定表（令和6年4月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月					
23	火					
24	水					
25	木					
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					

令和6年3月22日

第36回賀茂地域広域連携会議の開催について

(賀茂地域局)

賀茂地域における連携の強化、一体的な振興を図るための方針や計画の決定等を行う賀茂地域広域連携会議の第36回会議を開催します。

- 日 時 令和6年3月27日（水）午後3時から
- 場 所 静岡県下田総合庁舎2階 賀茂キャンパス（静岡県下田市中531-1）
- 参加者 下田市長、東伊豆町長、河津町長、南伊豆町長、松崎町長、西伊豆町長、
下田市・賀茂郡選出県議会議員、静岡県経営管理部長、
賀茂地域局長等県庁関係部局課長ほか

●議 題

1 報告事項

- (1) 教育委員会の共同設置専門部会について
- (2) 「伊豆半島 住む人・来る人 感謝祭」の開催について
- (3) 静岡県観光施策について
- (4) 地域へのデジタル実装促進に向けた計画策定支援事業について
- (5) 静岡県・下田市一体型道路等包括管理について
- (6) 移住・定住の促進について

2 協議事項

- (1) 能登半島地震を踏まえた地域防災力の強化について
- (2) 賀茂地域における「地域の未来予測」の作成について

担 当：賀茂地域局地域課
連絡先：0558-24-2204

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

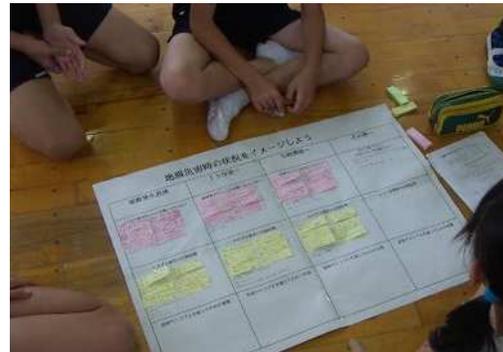
実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
4月15日(月) 14:50~15:35	下田高校 (下田市)	1・2年生	未定	
4月25日(木) 13:20~15:00	伊豆松崎分校 (松崎町)	全校	イメトレ	

(計2回)

(講座内容(抜粋))

【災害イメージトレーニング】(学校編・家庭編)

大規模災害時の周囲の状況を想像したり、トラブルへの対処法を考えたりするグループワークです。自分の身の周りでは何が起こるのかイメージすることで、様々な備えの必要性に気づくことができます。最後のまとめでは、被害を減らすための備えについて話し合います。付箋紙を使いながら意見を出し合うため、活発な意見交換が期待できます。



(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨を御連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 鈴木
連絡先：0558-24-2004